

2023 年「米山稔賞」表彰式を開催



左より中堀成生氏、理事長 米山勉（弊財団）、竹光唯至氏、森博朗氏

公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団（理事長 米山勉）は、ジュニアスポーツの振興に関し貢献された個人および団体を表彰する「米山稔賞」の表彰式を 2024 年 6 月 7 日(金)に帝国ホテル東京にて執り行いました。2023 年「米山稔賞」受賞者として、中堀成生氏(アジア競技大会ソフトテニス競技 TEAM JAPAN 男子監督)・竹光唯至氏(柳井商工高等学校 女子バドミントン部監督)・森博朗氏(尽誠学園高等学校 男子ソフトテニス部監督)の 3 名を表彰いたしました。

中堀成生氏(アジア競技大会ソフトテニス競技 TEAM JAPAN 男子監督)

《授賞理由》

2023 年 10 月に中国・杭州市にて開催された第 19 回アジア競技大会ソフトテニス競技 TEAM JAPAN 男子監督として、国別対抗（団体）・男子シングルス・Mix ダブルスの全ての種目にて金メダル獲得に導かれるという偉業を達成し、また、公益財団法人日本ソフトテニス連盟ナショナルチーム男子監督として、その優れた指導能力により、日本ソフトテニス界における競技力の向上とジュニア競技の普及と発展に大きく貢献されました。

《受賞コメント》

「このような名誉ある賞をいただき、感謝申し上げます。アジア競技大会は 1 年延期となり選手達にとってもコンディションを整えるのが難しい状況でしたが、見事に力を発揮し全制覇してくれました。私は、現在も選手として 40 年プレーしていますが、初めて握ったラケットはカーボネックスでした。私自身、道具に厳しく要望の多い選手でした

が、関係の方々にご支援いただき、全日本選手権で連覇することが出来ました。今後もソフトテニスの競技発展に貢献していきたいと考えております。」

竹光唯至氏(柳井商工高等学校 女子バドミントン部監督)

◀授賞理由▶

山口県柳井商工高等学校女子バドミントン部監督として2021・2022・2023年インターハイバドミントン競技女子団体、全国高等学校選抜バドミントン大会女子団体ともに優勝（3連覇）し、更に2023年は、特別国民体育大会で山口県少年女子監督としての優勝を含め年間の団体戦で、全て優勝に導かれるという偉業を達成されました。

また、世界ジュニアバドミントン選手権において2022年度女子シングルス、2023年度女子ダブルスでの金メダル選手も育て上げ、ジュニア育成に優れた指導力を発揮され、日本バドミントン界の普及と発展に大きく貢献されました。

※2024年3月開催の全国高校選抜大会も優勝。（4連覇）

◀受賞コメント▶

「素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。選手や卒業生、スタッフ、学校、協会、そして家族のおかげで頂いた賞だと思っています。この賞に恥じないよう皆様のご期待に応えられる結果を出していきたいと思っています。私には3つの目標があります。春夏8連覇のかかるインターハイで、現在のメンバーで勝つ事。また、地元・山口で開催される2025年インターハイで勝ち、地元へ恩返しをしたいと思っています。2つ目は、4年後、8年後のオリンピックにおいて金メダルを獲得できる選手を育成したいと思っています。そして3つ目は、結果ではなく、目標に向かって努力する力、チャレンジすることを楽しめる力を選手に学んでもらうこと。その力をバドミントンだけではなく、その後の人生に生かし、新しい目標に向かっていけるような人を育成していきたいと思っています。」

森博朗氏(尽誠学園高等学校 男子ソフトテニス部監督)

◀授賞理由▶

香川県尽誠学園高等学校男子ソフトテニス部監督として、2019年から2023年インターハイソフトテニス競技男子団体で優勝（4連覇）、全国高等学校選抜ソフトテニス大会男子団体優勝（2連覇）し、更に2023年は、特別国民体育大会で香川県少年男子監督としての優勝を含め、年間の団体戦で全て優勝に導かれるという偉業を達成されました。

日本ソフトテニス界のジュニア指導者としての功績は高く、競技の普及と発展に大きく貢献されました。

※2024年3月開催の全国高校選抜大会も優勝。（3連覇）

◀受賞コメント▶

「素晴らしい賞を受賞し、有難い一心です。関わってくださった全ての方々と選手達のお陰での受賞と思っています。前人未達のチャレンジを今年のインターハイで達成させたいと考え、チームの目標に「高校ソフトテニス界の歴史を変えよう」を掲げており、目的には「『有難い』を日本一感じて行動し、自分以外の誰かの喜びのために頑張ろう」を掲げています。私自身が成長し高校ソフトテニス界を引っ張っていく一つの軸となれるよう、尽力して参ります。ソフトテニス競技の普及、そして選手達の人柄も育成していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。」

[理事長挨拶] 米山勉

「受賞者の皆様、おめでとうございます。指導者として素晴らしい選手達を育成され、全国連覇やアジア競技大会・世界ジュニアでの金メダル獲得などの偉業に導かれ、競技の普及・発展に多大な貢献をされました。

当財団設立者で私の父である米山稔は、第二次世界大戦の日本敗戦後、スポーツこそ平和への最大の貢献と信じてヨネックス株式会社を設立し、ジュニアスポーツ振興を目的に 1998 年に当財団を設立いたしました。

現在、中学校部活動の地域移行により、受賞者の皆様のような素晴らしい指導者がいらっしゃるにも関わらず、子供達がスポーツをする環境の確保が難しくなっている状況です。

当財団は、助成・奨学・表彰の 3 事業により、皆様からのご協力を賜りながら、益々ジュニアスポーツの振興に邁進してまいりたいと存じます。」

安道光二氏(公益財団法人日本ソフトテニス連盟 会長)、

平岡英雄氏(山口県バドミントン協会 会長)、

下山優氏(一般社団法人日本車いすテニス協会 副会長)よりご祝辞を賜り、

畠中君代氏(弊財団 顧問、(株)ビッグKテニス 代表取締役)より乾杯の挨拶を頂き、お祝いの会を行いました。

弊財団は、ジュニアスポーツの振興に関する諸般の事業の推進を図り、心身ともに健全なジュニアアスリートを育成し、もって明るく豊かで活力に満ちた社会の実現に寄与することを目的とし、今後も尽力してまいります。